

高次元の患者ケアを目指して ～EBMとデジタルツールの役割～

COVID-19によるパンデミック発生直後、世界の医療現場は、新たな感染症に対する治療方針もエビデンスも確固たるものが無い中での診療を余儀なくされました。また、医療情報は加速度的に増加しており、かつて正しいと考えられた情報が書き換えられることは珍しくありません。このような状況においては、良質な最新のエビデンスに基づく医療の重要性がますます増えています。最新のエビデンス情報の効率的な入手と多職種での共有、実践を促進し、ケアチーム全体でばらつきをなくしより高水準なケアを実現するにはどうすればよいのでしょうか？

第1部では、倉敷中央病院 副院長 兼 総合診療科主任部長 兼 集中治療科主任部長 兼 救命救急センター センター長 福岡 敏雄氏をお招きし、「多職種での情報共有基盤は患者本位の医療を支える」をテーマに、EBMをもとにした患者中心のケアの実践や、多職種連携の事例、デジタルツールの活用について、より具体的なお取り組みをご紹介します。

第2部では、司会に徳田安春 先生（群星沖縄臨床研修センター センター長）をお招きし、第1部講師 福岡敏雄先生と対談を行い、EBMの重要性・現状の課題・未来について、ざっくばらんにお話いただきます。受講者の皆様からのご質問も受け付けます。

医療業界のトレンドや他院の取り組み状況を学ぶ場としてぜひお役立てください。

● **開催日時：** 2022年7月5日(火) 19:00～20:30

● **対象：** 医師・病院関係者

● **参加費：** 無料（事前登録制）

● **プログラム：**

・第1部講演「多職種での情報共有基盤は患者本位の医療を支える」

講師：福岡敏雄 先生（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 副院長）

・第2部対談・質疑応答

司会：徳田安春 先生（群星沖縄臨床研修センター センター長）

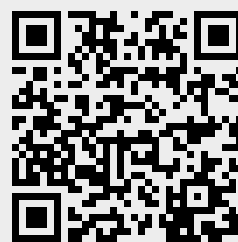
講師：福岡敏雄 先生（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 副院長）

● **共催：** ウォルターズ・クルワー・ヘルス
株式会社CBホールディングス

● **お申し込み方法：**

右記QRコードまたはリンクを使用して「登録フォーム」より参加登録をお願いいたします。登録完了後、セッションへの参加に必要な情報やリンクをご案内いたします。

FAXでのお申し込みをご希望の場合は裏面のフォームをご利用ください。



<https://bit.ly/39IY5U5>



福岡 敏雄氏

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 副院長
兼 総合診療科主任部長 兼 集中治療科主任部長
兼 救命救急センター センター長

1986年 大阪大学医学部卒。その後、大阪、倉敷、名古屋などで、集中治療・救急部門で働く。2006年から 倉敷中央病院 総合診療科 主任部長。2010年から 同院 救急医療センター（2013年から救命救急センター）センター長兼務。2014年から 同院 人材開発センターセンター長兼務。2020年から 同院 副院長。2018年から（公財）日本医療機能評価機構 執行理事（EBM医療情報サービス事業 担当）



徳田 安春氏

群星沖縄臨床研修センター センター長

1988年琉球大学医学部卒。沖縄県立中部病院で研修。その後、沖縄県立中部病院内科副部長、聖路加国際病院内科医長、筑波大学附属水戸地域医療教育センター教授、地域医療機能推進機構本部顧問等を経て、2017年より現職。米国ハーバード大学大学院公衆衛生修士号MPH取得。医学博士。筑波大学、聖マリアンナ医科大学、琉球大学、の各大学客員教授。獨協医大特任教授。台湾ホスピタリスト学会国際顧問。JGFM編集委員長。東京財団主席研究員。

FAX申し込みフォーム

送信先：03-6704-5255（株式会社ウォルターズ・クルワー・ヘルス・ジャパン キャンペーン事務局）

フリガナ お名前			勤務先名				
	氏	名					
部署名			役職名				
電話番号			Email	※受講票はEmailでお届けします			
職種	経営	医師	薬剤師	看護師	技術職	事務職	その他

講師へのご質問（本セミナーの第2部では質疑応答のお時間がございます）

弊社営業担当者名 []